

オールカラー
絵が豊富
見て
パッとわかる!

在宅 リハビリテーション ガイドブック

Home-based
Rehabilitation
Guidebook

医療、看護、介護職の皆さん、まずは中身を御覧ください



阿部 勉 監修

NPO法人全国在宅リハビリテーションを考える会
理学療法士

大沼 剛 編集

リハビリ推進センター 株式会社
理学療法士

導入・基礎編



在宅リハビリテーションガイドブック
【導入・基礎編】オールカラー／
B5判／232P／2021.3.22発行
ISBN 978-4-9911959-0-7
定価 1,980円＋税

実践・応用編



在宅リハビリテーションガイドブック
【実践・応用編】オールカラー／
B5判／304P／2021.3.22発行
ISBN 978-4-9911959-1-4
定価 2,980円＋税

豆知識でラクラク学習！
QRで動画にアクセス！

6 職種の見解が満載！

理学療法士

作業療法士

言語聴覚士

臨床心理士

管理栄養士

看護師

「導入・基礎編」「実践・応用編」
の2冊を通して、すべての職種が在宅で
のリハビリテーションに関わるうえで押
さえておきたい内容、ポイントを基礎か
ら応用まで丁寧にわかりやすく解説！



本書の特徴

1 基礎から応用まで

必要な知識と技術を**基本的事項**から**発展的事項**まで、
できるだけ専門用語を避け、図表を多く掲載（**600個**
以上）し、わかりやすい言葉で丁寧に解説。

2 現役専門職の執筆陣

全**6職種**による専門家たちが伝える、臨床現場で使える
実践的な内容。

3

学習支援

豆知識を**250個以上**掲示！ 学習しやすいように工夫。

基礎編

基礎・基本、
言葉の意味
など



体温調整

断収縮に使用されるエ
ネルギーの75%以上
が熱として放出。この
熱が体温を上昇させる。

応用編

臨床、本番
（現場）で
必要な知識
など



圧瘡を防ぐ

褥瘡発症は、生活期
で起こるイメージが強い
が、急性期から褥瘡
は進むものである。

発展編

知っている
と役に立つ知
識、応用につ
ながる知識
など



ライフコース

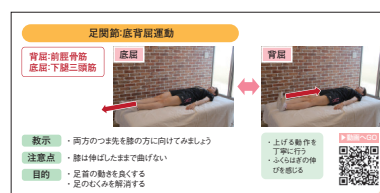
ライフコースとは、個人
が一生の間にたどる道
程のこと。具体的な人
生の過程、キャリア経
歴のようなもの。

4

動画解説

ベッド上で行う基本的な筋力強化運
動の一部を動画で解説（**全10種類**）。

実践・応用編



QR
コードで
動画確認！



発行

株式会社 RELIEF

広島県広島市西区高須台2-6-8

TEL:082-236-6938

導入・基礎編



在宅リハビリテーションガイドブック
【導入・基礎編】オールカラー／
B5判／232P／2021.3.22 発行
ISBN 978-4-9911959-0-7
定価 1,980 円＋税

豆知識で
らくらく
学習!



第1章 社会の変遷

1. 社会の変遷
 - ・世界の人口動態
 - ・日本の社会保障制度の概要と特徴
 - ・介護保険導入の理由
 - ・地域包括ケアシステムの概要と特徴

第2章 老化

1. 老化
 - ・サクセスフル・エイジング
 - ・老年期の生活機能の特徴

第3章 介護予防

1. 介護予防
 - ・身体的フレイル
 - ・精神的フレイル
 - ・社会的フレイル

第4章 リハビリテーション

1. リハビリテーションの概要
- 2-1. 理学療法
- 2-2. 作業療法
- 2-3. 言語聴覚療法
- 2-4. 装具療法
- 2-5. 心理療法
- 2-6. 栄養指導
- 2-7. 訪問看護

第5章 身体の仕組み

1. 筋肉
2. 関節
3. 感覚
4. 体力の構成要素と評価法
5. 歩行機能と評価法

実践・応用編



在宅リハビリテーションガイドブック
【実践・応用編】オールカラー／
B5判／304P／2021.3.22 発行
ISBN 978-4-9911959-1-4
定価 2,980 円＋税

QRで
動画に
アクセス!



膝伸展上運動

腹筋・腸腰筋・
大腿四頭筋



- 教示** ・ 膝を伸ばした状態で足を上げよう
- 注意** ・ 腰の既往がある場合は対側の膝を立てる
- 目的** ・ 立ち上がり、歩行に必要な大腿の筋肉を強化する

- ・ 床から30 cmくらいまで上げる
- ・ できるだけ膝を伸ばす
- ・ ゆっくりと足を下ろす



第6章 在宅リハビリテーションの介入手段

1. 課題の抽出と目標設定
2. 関節可動域運動
3. 筋力強化運動
4. ストレッチング
5. 物理療法
6. 認知行動療法
7. 福祉用具と住環境
 - 7-1. 福祉用具の種類
 - 7-2. 車いすの種類
 - 7-3. 住宅改修の種類
8. リスク管理
9. 状態別リハビリテーション
 - 9-1. 寝返り
 - 9-2. 起き上がり
 - 9-3. 立ち上がり
 - 9-4. 移乗動作
 - 9-5. 歩行
 - 9-6. 階段昇降
 - 9-7. 入浴動作
 - 9-8. 食事姿勢
10. 疾患別リハビリテーション
 - 10-1. 脳卒中
 - 10-2. パーキンソン病
 - 10-3. 大腿骨頸部・転子部骨折
 - 10-4. 糖尿病
 - 10-5. 関節リウマチ
 - 10-6. 脊髄損傷
 - 10-7. 変形性膝関節症
 - 10-8. 呼吸器疾患
 - 10-9. 循環器疾患
 - 10-10. 高次脳機能障害
 - 10-11. 筋萎縮性側索硬化症
 - 10-12. 下肢切断
 - 10-13. がん
 - 10-14. 失語症
 - 10-15. 認知症

第7章 場面別リハビリテーションの役割とポイント

1. 訪問事業
2. 通所事業
3. 介護予防体操
 - 3-1. 転倒予防体操 (手順)
 - 3-2. 腰痛予防体操 (手順)
 - 3-3. 尿失禁予防 (手順)
 - 3-4. 口腔体操 (手順)
 - 3-5. 認知機能低下予防体操 (手順)
 - 3-6. うつ予防 (手順)
 - 3-7. 引きこもり予防 (手順)
 - 3-8. ストレッチ体操 (手順)
4. リハビリ旅行の正しい使い方

お申込はこちらから

リハビリ推進



メール・FAXでのご注文は以下の内容を記載してお送りください。

- ① 件名: “テキスト注文”
- ② 発注内容: 基礎編〇冊、応用編〇冊
- ③ 氏名 (法人名)
- ④ 電話番号
- ⑤ 発送先住所
- ⑥ 希望納品日

メール: info@relief-japan.co.jp FAX: 082-236-6939